



再板

和歌歌女抄
下

九曜文庫
文庫30
D124
8
早稲田大学図書館



題林愚心抄雜部上

雜部

天 野風 夜風 雨 野文 野地 山 山中 海 海山 寺 里 第居

日 山夕風 深洞 夜雨 夕山 雨夜 松風 月 松風 雨夜 松風 月

松風 月 松風 雨夜 松風 月 松風 月 松風 月 松風 月

雜月 松風 雨夜 松風 月 松風 月 松風 月 松風 月

風 井風 浦烟 深山 朝 暮 夜路 池水 海水 海山 寺 里 第居



雜部

雜部

田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家
田家	田家	田家	田家

竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹
竹不改	竹林	竹	竹

雜詩
雜詩
雜詩
雜詩

僮僕

長非吏

津信

之人惜衣

曉老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

僮僕

高客

津信

刀家老翁

此思

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

僮僕

高客

老人

老情

夕思

山中老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

僮僕

隱士

五教老人

月老情

曉情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

僮僕

後士

之人

老情

春日老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

海上老情

羨

月老情

公事

水期祥

縣石除同

外化改作

曲水宴

大拜祭

跨射

神今會

相撲

甲斐駒牽

伏波和弓駒引

不遠田奏

射海姑

條時奈

短羨

海中老情

元日

氷振

卯杖

所裁

春日祭

石清水海神祭

催仙

宮老情

大板

卯年鞍馬幣

之考

上野駒引

例幣

鼓了

聖三所神樂

短羨

宮老情

元日宴

服老所費

岩刑

踏弓老情

大原老情

平野祭

三枝祭

贈給

乞巧奠

小野祭

氏老情

寺後神樂

柳虫

維摩老情

大樂老情

羨

宮老情

供屠獲自散

水

女叙位

賭躬

杉年祭

松尾祭

只月老情

獻酒

老情

秋奠

秋生老情

神灯

十月更衣

青西祭

新嘗老情

羨

宮老情

初夜

伏波老情

湯老情

元宴

三月三日

梅宮老情

實老情

秋來

孟宗老情

秋酌

駒牽

春日宴

旬

加賀海神祭

大嘗老情

公事

三三

聖仍幸

月次祭

肉倍不涉神人

有前

善於

返御

宜命

祈書

仍幸

清元服

祈重

七夜

祈接旬

天文奏

仁皇

奏重

止重

大后商家

思敬

牛車

人名

權四友

王昭表

浦鴻子

上人

揚孝祀

李夫人

王昭表

上陽人

陸孝妻

何若

原原

總分

誦經款

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

祝

祝

祝

祝

祝

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

花發進年

庭花感久

龍新成極花

久發明月

月為秋友

月為秋友

菊為秋友

池為秋友

松作十年友

新喜爭齡

松有佳友

庭有秋友

池上松

松有秋友

子有秋友

鶴有進齡

花進年友

庭花感久

菊為秋友

月發秋友

龍池上月

菊為秋友

池為秋友

松發進年

新喜爭齡

松有佳友

庭有秋友

池上松

松有秋友

子有秋友

鶴有進年

庭花感久

菊為秋友

月發秋友

龍池上月

菊為秋友

池為秋友

松發進年

新喜爭齡

松有佳友

庭有秋友

池上松

松有秋友

子有秋友

鶴有進年

庭花感久

菊為秋友

月發秋友

龍池上月

菊為秋友

池為秋友

松發進年

新喜爭齡

松有佳友

庭有秋友

池上松

松有秋友

子有秋友

鶴有進年

庭花感久

菊為秋友

月發秋友

龍池上月

菊為秋友

池為秋友

松發進年

新喜爭齡

松有佳友

庭有秋友

池上松

松有秋友

子有秋友

鶴有進年

題林愚抄雜効上

雜効

天

秋運

天の海も乃活五月の毎も秋は元々なるなり 今

月

秋吉

月あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

雜月

月

月あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

風

秋子

風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

聖風

秋子

聖風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

山々風

秋子

山々風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

松風

秋吉

松風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

松風

秋吉

松風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

松風

秋吉

松風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

松風

秋吉

松風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

松風

秋吉

松風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

松風

秋吉

松風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

松風

秋吉

松風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

松風

秋吉

松風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

松風

秋吉

松風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

松風

秋吉

松風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

松風

秋吉

松風あはれなるは秋の月も後月の浦もなるなり

深田老提督玉
中右

若くは風の吹くところよりいふも乃れそりて
おもむきといふものもふりやまひにふりて
おもむきいふものもふりやまひにふりて

日
おもむきいふものもふりやまひにふりて
おもむきいふものもふりやまひにふりて

日
おもむきいふものもふりやまひにふりて
おもむきいふものもふりやまひにふりて

若柳
浦烟
五

日
おもむきいふものもふりやまひにふりて
おもむきいふものもふりやまひにふりて

衣五
五
山中雨
五

日
おもむきいふものもふりやまひにふりて
おもむきいふものもふりやまひにふりて

野夕五
玉
為山由取守中老提督
職

日
おもむきいふものもふりやまひにふりて
おもむきいふものもふりやまひにふりて

日
おもむきいふものもふりやまひにふりて
おもむきいふものもふりやまひにふりて

日
おもむきいふものもふりやまひにふりて
おもむきいふものもふりやまひにふりて

日

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

日

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

月乃天... 院序

土取の柱

己上月 月ありとせつめいふ事く見入つたささふ物もやれを
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち

質州
月

己上月 月ありとせつめいふ事く見入つたささふ物もやれを
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち

己上月
日
新子

月ありとせつめいふ事く見入つたささふ物もやれを
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち

月

日

月ありとせつめいふ事く見入つたささふ物もやれを
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち
ひらひの方面のなをだせしはあぞり成もひらひのち

橋
山
夜

五月 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

わあ... 海... 水... 波... 浪... 潮... 汐... 風... 雲... 雨... 雪...

海

己上日

わあ... 海... 水... 波... 浪... 潮... 汐... 風... 雲... 雨... 雪...

海

己上日

わあ... 海... 水... 波... 浪... 潮... 汐... 風... 雲... 雨... 雪...

海

己上日

わあ

佳天

海を眺む

海色夕

海山

破

破

破

破

破

破

破

破

破

破

破

破

破

わが身をよみておくれ知ることも母の望は乃のこはれはうてわが

るこそはくらのまのちをまじりてさうらふわがれはひつはるは

わまのまむ里乃なる人やまじりてさうらふわがれはひつはるは

うし山乃丹ひひなる人やまじりてさうらふわがれはひつはるは

今をよもまじりてさうらふわがれはひつはるは

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

わがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

わがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

石とくしとくし人のこころをわがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

わがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

わがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

わがれはひつはるは

さうらふわがれはひつはるは

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

新拾

新拾

新拾

新拾

新拾

新拾

新拾

山寺 山寺 山寺

新拾

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

山寺

新拾

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

山寺

新拾

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

山寺

新拾

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

山寺

新拾

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

山寺

新拾

あさ川風わがさうらふわがれはひつはるは

新編拾 せしむるに因り其の... かりの... 風... ありて... 風... ありて... ありて... ありて...

己上同 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は...

己上同 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は...

己上同 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は...

己上同 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は...

己上同 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は...

己上同 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は...

己上同 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は... 赤尾は...

赤尾は... 赤尾は...

己上同 赤尾は...

為徳

同 是の山に... 松の... 久し... 山

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

海老松

海老松

海老松

海老松

海老松

海老松

海老松

海老松

海老松

海老松

海老松

海老松

海老松

海老松

海老松

為徳

同 是の山に... 松の... 久し... 山

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

同 松生洞屋 松子 万代の松を... 松乃... 乃... 乃...

西平源布

弁不路之

銀竹不木杖

竹遊年友

答言世系

除芝

男志事

聖書及つて

條

小條

月

月

月

月

新勅撰

後拾

子

子

子

白引友

子

子

子

新勅撰

後拾

子

皇行の... 乃... 爲...

をの... 乃... 乃...

は... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

皇行條

己丑月

己丑月

己丑月

己丑月

己丑月

己丑月

己丑月

己丑月

己丑月

己丑月

己丑月

己丑月

己丑月

己丑月

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

雜

百草

漢書

白草

藻

白草藻

藻

月

月

白草

藻

白草

藻

白草

藻

わさねはよわくしうてあまのこゝろのむらり物多 秋氏

みりりのひきはまきるまゝ乃のうたはつきてるいふのうら

ぬふとんふとんをうらぬまふふう人をもたれ乃むと

こまをれを埋るのまのまゝ乃の情をかくかひぬと

みさひのかりのほのまをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

風よるぬまをよめをよめをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

若

己下

後

月

月

若

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

月

白草

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

若

己下

後

月

月

若

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

乃乃のうらむとくもてをよめをよめをよめをよめをよめ

幽怪若
若乃衣衣

誌

主記

舟をぬきよき川を若のくむて人をかよらるる 為経抄

己上月 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

後改撰 乃乃乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

新抄 ぬきよき川を若のくむて人をかよらるる 為経抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

延文

己上月 舟をぬきよき川を若のくむて人をかよらるる 為経抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

日 かくや乃多乃乃若よび若のくむる若くやう経抄 乃氏抄

巳上月 松風の吹よかよひくぬるるまの秋のあへん乃女中と云ひ 大を
 かのよあひりた神へのまよふとひくまよふれ来叶ふ 後二位はよ
 かまきとせくのかをる文のむのあやととくむのあやととく
 まるまのあへん乃女中と云ひてのせれれと云ひ 同
 まんやのあひりたとむむむと云ひて今と云ふ世のあへん乃女中
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 くらと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 つやと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 あやととくむのあやととくむのあやととくむのあやととく
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく

松書智 園基

雑部

あやととくむのあやととくむのあやととくむのあやととく
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 くらと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 つやと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 あやととくむのあやととくむのあやととくむのあやととく
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく

頭林馬抄

雑部

客

松林のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 あやととくむのあやととくむのあやととくむのあやととく
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 くらと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 つやと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 あやととくむのあやととくむのあやととくむのあやととく
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく

見仍客

松林のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 あやととくむのあやととくむのあやととくむのあやととく
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 くらと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 つやと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 あやととくむのあやととくむのあやととくむのあやととく
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく

見仍客

松林のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 あやととくむのあやととくむのあやととくむのあやととく
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 くらと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 つやと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 あやととくむのあやととくむのあやととくむのあやととく
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく

見仍客

松林のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 あやととくむのあやととくむのあやととくむのあやととく
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 くらと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 つやと云ふあへん乃女中のあへん乃女中と云ひてあやととく
 人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく
 あやととくむのあやととくむのあやととくむのあやととく
 少人のあへん乃女中と云ひてあやととくむのあやととく

已上同

其の初めは… 凡人の世に… 徳を修め… 善行を積む… 功を立せしむるは… 人の世に… 徳を修め… 善行を積む… 功を立せしむるは… 人の世に… 徳を修め… 善行を積む… 功を立せしむるは…

已上同

新捨

同

其の中乃れ… 徳を修め… 善行を積む… 功を立せしむるは… 人の世に… 徳を修め… 善行を積む… 功を立せしむるは… 人の世に… 徳を修め… 善行を積む… 功を立せしむるは…

老人述懐

老後述懐

同

同

同

同

同

新編撰

かきしうしひをいそくあつかふにたぬれしをたぬれしを

可

あしごと一巻乃りし乃るをたすめてそを紙にさびりて

月

ふよちとよきもせひまよひししをたかす事乃りなりしてそを

後拾

かりし世のうたをそとくしあきしをいへりてつらあつきあつし人

あひおのつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

そをうぬりてつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

いしつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

あひおのつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

そをうぬりてつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

いしつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

あひおのつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

そをうぬりてつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

いしつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

あひおのつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

そをうぬりてつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

いしつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

あひおのつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

そをうぬりてつらよあぬいし乃りそをさうれんや。あつし人

懐旧渡

同

あつし人

懐旧一

新千

あつし人

老後懐旧

月

あつし人

秋懐旧

後拾

あつし人

文懐旧

予

あつし人

山懐旧

後千

あつし人

月懐旧

同

あつし人

後拾

あつし人

新和

あつし人

同

あつし人

現存

あつし人

御衣

孝中坊

わくとんよて人のつおせひるちり中ん今并うめん
後徳に渡り候

賭射

日

日

千羽やある神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

外礼並給

日

日

わんくあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

日

日

かめんもくあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

日

日

わあ乃下くええをえええええええええええええええええ
瀬聖良

日

日

二月のころあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

日

日

あまあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

日

日

あまあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

日

日

あまあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

右書案

日

日

あまあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

三月三首歌林屋

日

日

あまあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

あまあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

日

日

あまあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

日

日

あまあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

日

日

あまあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

日

日

あまあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

曲水宴

日

日

あまあつ神乃つものうねえや花とゆきれんとあゆ久
瀬聖良

新族古

新族古

新秋の雁射

ちりちり秋の雁射の行乃大主人の如きと云うなり

後十

九月のこのころ乃さう秋の雁射も若くはまをこまに外

新秋

のころはさうかしてさうかして秋の雁射もさうかして

九月

山乃乃あれはさうかしてさうかしての所さうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

十月

山乃乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

灌佛

三枝堂

又目録

加多蔵堂

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

同

唯あしう月乃さうかしてさうかしてさうかしてさうかして

加多蔵堂

廿九

七次

同

七次にて七回ありの事... 仲美

同

... 後程

天交卷

同

... 兼昌

行雨

同

... 宗樹

止る

同

... 傍

思教

同

... 三

本車

同

... 右

奏

同

... 入

徑車

同

... 右

大

同

... 女

を

新

... 右

七次

同

... 右

七次

同

... 右

七次

同

... 右

七次

同

... 右

七次

同

... 右

